

平成19年度

神奈川県立厚木高等学校同窓会

## 定期総会



日時：平成19年6月30日（土）13時より

会場：厚木商工会議所 5階 大会議室

# 平成19年度神奈川県立厚木高等学校同窓会総会

平成19年6月30日(土)午後1時00分 開会  
会 場：厚木商工会議所 5階・大会議室

司会進行 事務局長 大津 博康

## 総会次第

### ○ 物故者への黙祷

- |              |        |       |
|--------------|--------|-------|
| 1. 開会の辞      | 同窓会副会長 | 中丸 英一 |
| 2. 同窓会長挨拶    | 同窓会会長  | 小澤 澄男 |
| 3. 学校長挨拶     | 同窓会顧問  | 堀 英雄  |
| 4. 来賓紹介、来賓祝辞 |        |       |

### 5. 議 事 (議長選出：)

- |              |       |       |
|--------------|-------|-------|
| ①平成18年度事業報告  | 事務局次長 | 志村 祐一 |
| ②同 本部会計決算報告  | 事務局会計 | 足立原 泰 |
| 同 会計監査報告     | 会計監査  | 大野 訓男 |
|              | 会計監査  | 八木 一郎 |
| ③平成19年度事業計画案 | 事務局次長 | 志村 祐一 |
| ④同 本部会計予算案   | 事務局会計 | 足立原 泰 |
| ⑤その他         |       |       |

### 6. 報告事項

- |              |        |       |
|--------------|--------|-------|
| ①学校報告        |        |       |
| 7. 進路の状況     | 事務局    | 須藤 福治 |
| 4. 部活動の状況    | 事務局    | 内田 憲夫 |
| ②かながわ校歌祭について | 副会長    | 近藤 俊二 |
| 7. 閉会の辞      | 同窓会副会長 | 梅澤 行次 |

### 8. 講演会

- 講師 小島 環 禮氏 (高校6回、琉球大学名誉教授)  
演題 『正倉院の天平十年の記録から  
国分寺・大山、丹沢の歴史を探る』

(講演会終了後 集合写真撮影 5階 大会議室)

## 懇親会 午後3時30分より (会 場：1階 ロビー)

- |              |          |       |
|--------------|----------|-------|
| 1. 開会の言葉     | 副会長      | 瀬戸 宏孝 |
| 2. 乾杯        | 参加最年長同窓生 |       |
| 3. 懇談        |          |       |
| 4. 校歌斉唱、万歳三唱 |          |       |
| 5. 閉会の言葉     | 副会長      | 近藤 俊二 |

以上

平成18年度

## 事業報告

平成19年6月30日

同窓会事務局

### (1) 行事

18. 8.12 (土) 平成18年度総会及び懇親会 厚木商工会議所  
同窓会・会報40号発行
- 10.21 (土) 第1回かながわ校歌祭 県立青少年センター
- 10.28 (土) 相模原両青会 相模原市民会館
- 11.11 (土) 秦野戸陵会 秦野商工会議所
- 11.12 (日) 座間戸陵会 座間神社「すいめい」  
「いづみ」
19. 2.4 (日) 津久井支部会
- 3.2 (金) 第59期生卒業式  
(茅賞・特別賞贈呈) 厚木高校体育館
- 3.4 (日) 御所見戸陵会 御所見市民センター
- 3.31 (土) 同窓林下刈り 愛川町南山「憶い出の杜」

### (2) 事業

- ①校歌祭準備会 第1回校歌祭実行委員会10月までに6回開催  
第2回校歌祭実行委員会3月下旬までに3回開催
- ②ホームページの立ち上げ・・・18年11月6日(月)

平成18年度 収支決算書

(平成18年8月1日～平成19年3月31日)

厚木高校同窓会

(単位：円)

項 目		予 算 額	決 算 額	増 減
収 入 の 部	1 会費	1,500,000	350,000	△ 1,150,000
	2 入会金	2,100,000	2,100,000	0
	3 寄附金	0	50,000	50,000
	4 総会懇親会参加費	240,000	285,000	45,000
	5 雑収入	10,000	92,959	82,959
	6 前年度繰越金	4,668,407	4,668,407	0
	収 入 合 計 (A)	8,518,407	7,646,366	△ 972,041
支 出 の 部	1 事業費	1,680,000	1,120,835	469,165
	①各支部等活動参加費	400,000	230,000	170,000
	②かながわ校歌祭	250,000	300,470	△ 50,470
	③懐い出の杜維持管理費	120,000	85,644	34,356
	④地引き紙	60,000	0	60,000
	⑤同期会活動助成費	100,000	100,000	0
	⑥孝賞	100,000	61,425	38,575
	⑦部活動補助費	300,000	50,000	250,000
	⑧卒業記念品	200,000	181,125	18,875
	⑨厚高新聞購入費	60,000	112,171	△ 52,171
	2 管理運営費	1,700,000	1,051,358	648,642
	①総会等開催費	400,000	511,727	△ 111,727
	②出張交通旅費	150,000	60,420	89,580
	③通信費	50,000	31,920	18,080
	④印刷複写費	50,000	13,965	36,035
	⑤会費振込手数料	150,000	2,600	147,400
	⑥事務用品費	200,000	233,460	△ 33,460
	⑦会議費	300,000	51,616	248,384
	⑧慶弔費	250,000	81,500	168,500
	⑨交際費	150,000	64,150	85,850
	3 広報活動費	550,000	450,450	99,550
	①広報活動検討費	400,000	342,300	57,700
	②同窓会報発行費	150,000	108,150	41,850
	4 雑費	100,000	3,315	96,685
	5 予備費	4,578,407	0	4,578,407
	6 定期預金繰替	0	2,000,000	△ 2,000,000
	支 出 合 計 (B)	8,618,407	4,625,958	
次年度繰越金 (A) - (B)	0	2,920,408		

平成18年度

## 部活動支援基金決算報告

支援基金担当

(収入の部)

前年度残高	842,484 (円)
利息	67

---

842,551 (円)

(支出の部)

1) ボクシング 全国高校総体	198,130 (円)
-----------------	-------------

---

小 計 198,130 (円)

(差し引き)

842,551 - 198,130 = 644,421 (円)

今年度残高 644,421 (円)

本部会計より入金 5,000,000 (円)

---

19年度への合計繰越金 5,644,421 (円)

# 監 査 報 告 書

神奈川県立厚木高校同窓会平成18年度会計について、備え付けの  
関係帳票類および関係証憑書類等を慎重にかつ厳正に監査した結果、  
正確に整備され、記帳されていることを認めます。

平成19年5月19日

会計監査 大野 訓 男 印

会計監査 八木 一 郎 印

# 財 産 目 録

厚木高校同窓会

(単位：円)

1、 普通預金 (平成19年3月31日現在)	2,920,408
2、 定期預金 (平成19年3月31日現在)	2,000,000
3、 母校教育振興基金 (平成19年5月19日現在)	9,552,480
4、 部活動支援基金 (平成19年5月19日現在)	5,644,421

正 味 財 産                      20,117,309

---

平成19年度 予算(案)  
(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

厚木高校同窓会  
(単位:円)

項	目	予	算	備	考
収 入 の 部	1	会費	3,500,000	2000円X1750人	
	2	入会金	2,100,000	7000円X300人	
	3	寄附金	50,000		
	4	総会懇親会参加費	300,000	3000円X100人	
	5	雑収入	10,000		
	6	前年度繰越金	2,920,408		
		収入合計(A)	8,880,408		
支 出 の 部	1	事業費	1,850,000		
		①各支部等活動参加費	400,000		
		②かながわ校歌祭	250,000		
		③懐い出の杜維持管理費	120,000		
		④地引き網	60,000		
		⑤同期会活動助成費	300,000		
		⑥茅賞	70,000		
		⑦部活動補助費	300,000		
		⑧卒業記念品	200,000		
		⑨厚高新聞購入費	150,000		
	2	管理運営費	1,900,000		
		①総会等開催費	550,000		
		②出張交通旅費	100,000		
		③通信費	50,000		
		④印刷複写費	50,000		
		⑤会費振込等手数料	150,000		
		⑥事務用品費	250,000		
		⑦会議費	100,000		
		⑧組織運営費	450,000		
		⑨慶弔費	100,000		
	⑩交際費	100,000			
3	広報活動費	550,000			
	①広報活動検討費	250,000			
	②同窓会報発行費	300,000			
4	雑費	50,000			
5	予備費	4,530,408			
	支出合計(B)	8,880,408			



平成19年度

# 事業計画 (案)

平成19年6月30日

同窓会事務局

(年間行事)

19. 4. 13 (金)	創立105周年開校記念日	厚木高校
5.4 (祝日)	第7回 地引き綱会	鶴沼海岸「堀川綱」
5.12 (土)	伊勢原戸陵会	伊勢原「こみや」
6.10 (日)	大和戸陵会	「大和グランドホテル」
6.16 (土)	愛川戸陵会	愛川「こまや」
6.30 (土)	平成19年度総会及び懇親会	厚木商工会議所
(7月	厚木連合戸陵会	)
9.22 (土)	相模原両青会	相模原市民会館
10.13 (土)	第2回 かながわ校歌祭	県立青少年センター
10月中旬	同窓林下刈り	愛川町南山「憶い出の杜」
10.28(日)	座間戸陵会	座間神社「すいめい」
11.11 (日)	秦野戸陵会	秦野「やなぎや」
20. 2月	津久井支部会	
3月	第60回 卒業式	厚木高校
3月	御所見戸陵会	御所見市民センター
3月下旬	同窓林下刈り	愛川町南山「憶い出の杜」

-----  
\* (各種事業)

\* 第2回 校歌祭準備会 10月までに2～3回開催

\* 支部支援活動

\* 広報活動

・会報の作成等

## 進 学 状 況

年	区分	卒業 者数	進学 希望 者数	進学者数				入学率	
				四年制大学		短期大学	専修学校 大学校等		
				国公立	私立				
2007	現役	314		240	54	180	4	2	76%
(H19)	既卒		85	81	22	58	1	0	95%
2006	現役	319		222	60	153	1	8	70%
(H18)	既卒		73	71	16	55	0	0	97%
2005	現役	316		239	56	170	4	9	76%
(H17)	既卒		98	82	27	53	1	1	84%
2004	現役	355		246	48	188	6	4	69%
(H16)	既卒		147	127	34	89	2	2	86%
2003	現役	396		232	35	175	6	16	59%
(H15)	既卒		150	137	35	94	1	7	91%

## 就 職 状 況

2007年 就職状況

年度別就職者数

地 域 別		
県内	男	0
	女	0
県外	男	0
	女	0
計		0

職 種 別	
官公庁	0
会社員	0
自営業	0
その他	0
計	0

年	人数
2007 (H19)	0
2006 (H18)	2
2005 (H17)	0
2004 (H16)	0
2003 (H15)	2

過去3年間の合格者数

<国立大>		2007年		2006年		2005年	
学校名	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒
鹿屋体育	1						
茨城						2	
大阪外国語							1
お茶の水女子			2	1	1		
香川						1	
金沢			3				
九州			1		1		
京都	2						2
群馬						2	
高知			1				1
神戸					1	1	
埼玉	3					2	
静岡						3	
信州	1	1	2				
千葉	1	2	1		2	2	
筑波	5		8	2	1	1	
電気通信	2	2	1	2	6		
東京	6	2	3	2	2	3	
東京外国語	4		1				2
東京海洋			1				
東京学芸	3	1	4		1		
東京工業	4	4	5	2	4	1	
東京農工	4		1	1	5	4	
東北	2		1		3	1	
富山						1	
長岡技術科学						1	
名古屋	1			1			
一橋		1	3		6	1	
大阪		2					
福島			1				1
北海道	2	2	1	2	2	1	
北海道教育				1			
山梨							
横浜国立	7	3	9	2	5	1	
琉球			1				
国立大計	45	23	50	16	51	23	

<公立大>		2007年		2006年		2005年	
学校名	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒
大阪府立						1	1
岡山県立	1						
北九州市立	1						
神奈川県立保健福祉			2		3	2	
岐阜薬科			1				
首都大学東京	6		8		6	6	
高崎経済			1				
前橋工科	1						
都留文科							
名古屋市立							
横浜市立	6		6	1	2	1	
公立大計	15	0	18	1	12	10	

<大学校>		2007年		2006年		2005年	
学校名	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒	現役 既卒
国立看護大学校						1	
大学校計	0	0	0	0	1	0	

<私立大> 学 校 名	2007年		2006年		2005年	
	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒
青山学院	40	2	34	5	43	5
朝日					1	
麻布	1	3	1	2	3	5
亜細亜			3	1	1	
桜美林	3		2		5	
大妻女子	4	1				1
岡山理科					2	
学習院	3	1	2	3	5	3
学習院女子	1				1	1
神奈川	33	6	21	4	17	5
神奈川工科			1		2	1
鎌倉女子	2		1			
関西	2			1		
神田外語						
関東学院	2	2	3		2	1
北里	7	6	9	4	13	9
岐阜女子						
京都嵯峨芸術						
京都産業			1			
京都造形						
共立女子	1					
共立薬科		1			1	2
杏林	3		2		2	2
国立音楽	1		1	1		
慶応義塾	30	12	22	10	24	11
恵泉女学園					3	
工学院	3		2	1	3	1
神戸学院						
國學院	1	2	3	2	3	2
国際医療福祉	4	2	1		1	
国際基督教	1			1		
国士館	2		1	2	3	
駒澤	1		4	6	5	5
埼玉医科				1		
相模女子			2			
産能						
静岡産業				1		
自治医科					1	

実践女子		2				1
芝浦工業	6	3	10	1	7	2
城西		1				1
上智	14	13	16	6	8	7
昭和	1				5	
昭和音楽	1		1		2	
昭和女子	5	1	2		3	1
昭和薬科	5	2	5	2	6	2
女子美術	1		1			
白百合女子	2					
成蹊	2		4	2		1
成城	2	1	4	1	2	1
聖心女子						1
清泉女子			1			
聖徳						1
聖母			1			
聖マリアンナ医科		1	1			
専修	15	3	17	4	12	4
洗足学園音楽			1			
創価	2					
大東文化	2					
拓殖			1			1
多摩		1				1
玉川	8	1	3		7	1
多摩美術				1		1
千葉科学					1	2
中央	54	12	44	22	38	6
中京						
津田塾	1		2		3	2
鶴見						
帝京	3		3		2	
帝京科学			1			
帝京平成					1	
東海	4	4	15	1	7	3
東京医療保健	3				1	
東京家政			2		1	
東京家政学院	1	1	2			
東京経済				1		
東京工科			3		2	
東京工芸					3	

東京歯科			1			
東京慈恵会医科						
東京女子	3	1	7	3	3	3
東京造形					2	1
東京電機	2		2	2	6	1
東京農業	10	1	6	4	5	5
東京富士				1		
東京薬科	4	2	6	3	7	2
東京理科	25	12	30	8	28	8
同志社		3	2	1	1	1
東邦	1					2
桐朋学園						1
東北学院			2			
東北薬科						
東洋	6	1	3	3		
東洋英和女学院	7		1		2	
獨協					1	
獨協医科	1		1			
名古屋外語						
南山						
新潟医療福祉			1			
新潟薬科	1				1	
日本	10	5	12	5	10	6
日本歯科			1	1		
日本獣医生命科学		1				
日本獣医畜産				1		3
日本女子	13	5	5	4		2
日本体育						
フェリス女学院					2	
文化女子	1					
文教	3		1			
文京学院			1			
法政	36	11	33	11	22	5
北陸			1			
星薬科	2	1	1	2		2
武蔵川女子						
武蔵			2		1	
武蔵工業	9	5	17	2	8	
武蔵野	5	2	2		2	1
武蔵野美術				1	1	1

明治	66	18	51	26	50	13
明治学院	15	4	12	2	18	2
明治薬科	1		1		1	
名城						
明星				1	1	
目白				1	1	
酪農学園						1
立教	38	13	18	13	21	14
立正						1
立命館	2		3	3	11	2
早稲田	43	26	50	23	34	20
和光					2	
私立大計	583	193	528	207	494	189

<公立短大>		2007年		2006年		2005年	
学 校 名	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	既卒
神奈川県立外語短				1			
横浜市立看護短							
公立短大計	0	0	1	0	0	0	0

<私立短大>		2007年		2006年		2005年	
学 校 名	現役	既卒	現役	既卒	現役	既卒	既卒
青山学院女子短	1					2	
大妻女子大短	1		2			2	
共立女短							
駒沢短							
上智短				1			1
昭和音楽大短				1			
昭和女子大短	2						
東海大医療技術短	1						
女子美術大短	1						
東京農業大短		1	1			1	
桐朋学園芸術短							1
日本体育大短							
立教女学院短	1						
ヤマザキ動物看護短							
私立短大計	7	1	5	0	5	2	

## 第2回かながわ校歌祭について

### 1. 趣旨

昨年秋、第1回かながわ校歌祭を開催したところ、県立高校22校の同窓会が現役の生徒と共に参加し、マスコミや県議会の応援もあり、大成功を収めた。

ほとんどの学校が「続けてやるべし」という反応をもたらし、第2回校歌祭を開催することになった。

### 2. 期日

平成19年10月13日(土) 午後0時30分～午後5時

### 3. 会場

神奈川県立青少年センター・・・昨年と同じ・・・横浜市西区紅葉ヶ丘

### 4. 参加同窓会

25校・・・昨年より3校増

### 5. 主催

かながわ校歌振興会(参加同窓会の集まり)。神奈川県教育委員会が共催。

今年も、参加同窓会出身の県議会議員が参与会を構成し、応援する。

### 6. 校歌祭における厚木高校同窓会の役割

かながわ校歌振興会・・・副会長(近藤俊二) 会計(石塚 修)

第2回校歌祭実行委員会・・・副委員長(近藤) 会計(石塚)

実行委員(志村祐一) 舞台係(長嶋克佳) 会場係(森住照雄)

幹事校(8校)の中の柱の1校として、総務・経理などを担当する。

### 7. 厚木高校の参加体制について

昨年は、ダンスドリル部32名と卒業生70名が参加。(内、応援団OB多数)

出場22校中、最大規模の参加を誇り、校歌を大合唱、新聞にも大きく報道された。

今年は?

現役の参加について・・・志村実行委員担当20～30名

同窓会員について・・・総会・各支部会で呼びかけ 70名くらい

\*参加形態については、「第1回と同様に」ということが、第1回終了後の

申し合わせとなっている。・・・応援団OB会(難波 浩)のリードに従う。

### 8. 練習会

参加者が、おおむね決定した段階で、9月9日(日)午後2時から練習会を学校(中庭)で行う。この時に当日の服装、集合場所・時間等を連絡します。

### 9. 校歌祭終了後の懇親会について

昨年は、歌い終わって直ぐ山下町のホテルに向かい、盛大な打ち上げを行った。

今年も、近くに会場を設営して賑やかに青春を語り合いたい。

\* 担当者・・・本部役員(梅澤行次、神崎英男、大津博康)

### 10. 参加申し込みについて

別紙申込用紙により、7月31日迄に下記宛先に届くようお願いします。

〒 243-0031 厚木市戸室2-24-1 厚木高校内 志村 祐一先生

FAX 046-222-8243

m e m o

# 講 演 会

演 題：『正倉院の天平十年の記録から

国分寺・大山，丹沢の歴史を探る』

講 師：小 島 環 禮氏（高校6回在籍・琉球大学名誉教授）

## 講師プロフィール

（経 歴）：愛川町立愛川中学校卒業  
神奈川県立厚木高校入学 2年修了  
神奈川県立川崎高校転入、卒業  
國學院大学文学部入学、卒業 國學院大学院博士課程修了  
國學院大学附属久我山高校教諭 二松学舎大学講師  
琉球大学助教授 同 教授  
平成13年 ご退職 琉球大学名誉教授  
民俗学、日本古典文学専攻

（主な著書）：校注風土記（角川文庫）、日本靈異記（集英社）、中世喝導文学の研究（泰流社）  
日本の神話（筑摩書房）、琉球学の視角（柏書房）、琉歌往来（風信社）、  
神奈川県昔話集（上・下）（神奈川県教育委員会）など



一、漢書遺文 七八三頁 (一九五八年)

相模國 □ □ 郡 大磯里 大磯郡 白鷺 調 □ □ 布衣端

調 □ □ 布衣端

天保十年

二、日本古代人名辭典 一巻二〇五頁 (一九五八年)

五八年)

「磯部白鷺」相模國余綾郡 不産郷 大磯里の

美、天保十年の調書に於て「大磯里の

正製銘)。大磯郡の調りか。

三、神奈川県史 資料編 一 一九頁下 (一九七〇年)

郡 大磯郷 大磯里 大磯郡 白鷺 調 □ □ 布衣端

天保十年

四、相模原市史 一巻三一五頁 (一九六四年)

相模國 □ □ 郡 大磯郷 大磯里 大磯郡 白鷺 調 □ □ 布衣端

調 □ □ 布衣端

天保十年

五、正倉院宝物名文集 松島順正編 三一

六頁 國版 143 (一九七八年)

相模國 餘綾郡

郡 大磯里 大磯郡 白鷺 調 井原布衣端

(調書)

天保十年

不、書院部 紀要 第三号 正倉院百製銘又

集成 (結) 松島順正 (一九五五年)

相模國 餘綾郡

郡 □ □ 郷 大磯里 大磯郡 白鷺 調

調 布衣端

天保十年

私見 書院部 (結)

相模國 餘綾郡 大磯里 大磯郡 白鷺 調

調 井原布衣端

天保十年九月

名 優名類聚抄 大 圖第十三

相模圖第八十二

足上郡

高家 櫻井 岡本 住野 餘戶 藤家

飯鐘郡

伊藤 飯鐘 霧見 澤長 中村 樽多 金目

足下郡

高田 和戶 飯田 栗木 足柄 藤家

大住郡

中島 高來 川相 片岡 方良 和太 日田 大原 柳待

藤家 清邊 石見 大上 前取 三宅 餘戶

豊中郡

玉川 栗郡 印山 船田 大庭 餘戶

高野郡

樂濃 伊勢 有原 飯見 高野 清榮 藤川 佐藤

藤田 藤家 二買 岡本 土甘 河會 大庭

鎌倉郡

沼頭 鎌倉 塚立 窪原 尺度 大島

淵淵郡

田原 淵淵 水鏡 御所 安原

『北条氏所領役帳』永享十二年(二五九)

鎌久井衆

一 内藤左近将監  
 武百拾四貫四百卅五文 四田郷 中郡  
 此内五十四貫四百卅五文 突卯換地増分 永享十二年  
(二多御多)  
 武百拾七貫八百五十五文 酒井郷 中郡  
 此内百七十四貫五百五十五文 突卯換地増分  
 百四拾九貫八百七十七文 川野村 東郡  
 卅貫文 中沢之村 同  
 卅五貫文 三井村 同  
 卅貫文 [同] 八幡原村  
 三百廿五貫七百六文 鷺甲 中郡  
 此内百廿五貫七百六文 突卯換地増分  
 以上千貳貫八百八文 此内三百五十四貫六百八十  
六文 突卯換地増分  
 此内七百五十貫文 當年改換仰付 知行役出領共  
 然而  
 武百五拾二貫文八百八文 殿前發給今以後  
可為其分也

(中略)

拾貫文 小沢 金子新五郎

(中略)

一 内藤三郎兵衛  
 廿貫文 保内 半原代  
 武貫文 同 小倉郷  
 拾八貫文 同 輪田  
 六拾二貫文 保内 坂本村  
 五貫文 同 五坊  
 卅貫文 同 磯辺半分  
 以上百卅七貫文 此貫數領主如申記  
 役致来

A. 『<sup>1</sup>傳名鑑』 地名資料 (九世紀)

- (甲) 「不」の字のつく例 不名(香河 群田) 不程(櫻葉 安甲) 不都(丹波 不田)
- (乙) 「磯部郷」の例 香河津東(以實傳) 美濃郡 信濃郡(伊實傳) 磐前郡 伊高郡  
不(以實傳) 上野郡 氷(伊實傳)

B. 「磯部」の氏名 (『日本古代人名辭典』を参照)

- ① 伊勢郡 神麻のほとんども磯部(内名) 石部(外名) 一達層三十三年(八〇四) 坂立郡 大津郡(外名) 四止由良宮儀(外名)
- ② その他の記録 御野國 伊勢郡 宇治郡 大正三年(七〇三) 之籍「石部」 同國 阿波國 赤松郡 大正三年(七〇三) 之籍「石部」 同國 美濃郡 大正三年(七〇三) 之籍「石部」 伊賀國 伊賀郡 大正三年(七〇三) 之籍「石部」 平陽元年(七四九) 田原 尾張國 海部郡 三正年(七五〇) 之籍「石部」 天平十年(七三八) 駿河國 正統年(七三六) 之籍「石部」 上野國 甘栗郡 一統日本紀(神皇正統記) 三正年(七六六) 「磯部」 同國 群馬郡 下野郡 高田郡 一統三正年(七二六) 「結城縣」 「磯部」 越前國 足羽郡 上野郡 一統三正年(七二六) 同國 司馬郡 一統三正年(七二六) 下野國 高田郡 大正五年(七二一) 之籍「磯部」 隱岐國 後進郡 (外名) 一統三正年(七二六) 同國 正統年(七三三) 「磯部」

C. 『先代旧事本紀』 卷十「國運本紀」 大正三年(八〇七) 以降、延喜四年(九〇四) 不承以前

志賀高穴穗朝、<sup>1</sup>國運本紀 卷十 三也 孫高穴穗朝 國運  
志賀高穴穗朝御世、<sup>1</sup>國運本紀 卷十 三也 孫高穴穗朝 國運

D. 國運事項参考年表

- (甲) 和銅六年(七一三) 『風土記』撰述の官命(『統日本紀』同承和二年の条)
- (乙) 聖武元年(七一五) 式により國郡置制から國郡郷置制に改めり(『承和國風土記』卷十部)
- (丙) 神皇正統(七三六) 民部省の口宣により郷名の表記を改めり(『承和國風土記』卷十部)

\* 好字三所に有る

- (甲) 天平十一年(七三九) 十三日 三ノ幸ニ、國郡郷置制
- (乙) 天平十三年(七四一) 三月二十四日の條、國郡郷置制(『統日本紀』)
- (丙) 天平二十年(七四八) 二月二十二日 知識の物邊 吾人々... 從五位上 後都督 依承に 出に 行後五位下
- (丁) 神皇正統三正年(七六六) 二月三日 從五位下 勳 大皇孫 都督 依承に 相授 賜と 賜ひて、相授 國郡置制
- (戊) 五世紀、嘉元八年(一一二五) に日本國 京東 相州 行卷 東上 中 野 藤 牙の 僧尼 亡死の

m e m o

# 神奈川県立厚木高等学校同窓会 会則

## 第1章 総則

(名称)

第1条 本会は、神奈川県立厚木高等学校同窓会(略称「戸陵会」と称する。

(事務局)

第2条 本会は、事務局を神奈川県立厚木高等学校(以下「母校」という。)内に置く。

(目的)

第3条 本会は、会員相互の親睦、交流を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦に関する事業
- (2) 母校の発展向上に関する事業
- (3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会は、次の会員により組織する。

- (1) 正会員 神奈川県立第三中学校、同県立厚木中学校及び同県立厚木高等学校の卒業生並びにこれらに在学したことがある者
- (2) 特別会員 母校の現職員及び旧職員並びに役員会の承認を得た者

## 第2章 役員等

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 2名

(役員の選任及び任期)

第7条 役員を選任は、次のとおりとする。

- (1) 役員は、正会員の中から選任し、総会において承認する。
- (2) 前身に規定する役員候補者は、別に定める役員選考委員会において選考する。
- 2 役員任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 会長の在任期間は、連続して2期を超えることができない。
- 4 役員が欠けた場合における補欠役員任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 役員は、任期満了後であっても、後任者が就任するまでは、引き続きその職務を行うものとする。

(役員の仕事)

第8条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。
- (3) 監事は、事業及び会計を監査する。

(理事)

第9条 理事は、会長並びに第12条に規定する支部の推薦により、役員会の承認を得て、会長が委嘱する。

- 2 理事は、理事会を組織し、本会の事業が円滑に推進されるよう協力するとともに、必要に応じて会長に建議をすることができる。
- 3 理事の任期は、3年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 理事が欠けた場合における補欠理事の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第10条 本会に事務局を置く。

- 2 事務局は、事務局長、事務局次長、校内役員及び会計で構成し、会長が委嘱する。
- 3 事務局長は、母校及び会員との連絡・調整、会議の招集事務、その他本会の庶務を行う。
- 4 事務局次長は、事務局長を補佐し、事務局長に事故ある時は、その職務を代行する。
- 5 校内役員は、事務局長及び事務局次長を補佐し、本会及び母校との連絡・調整を行う。
- 6 会計は、本会の出納管理を行う。

(顧問等)

第11条 本会に、名誉会長、顧問及び卒業回別役員を置くことができる。

- 2 名誉会長は、会長経験者で、本会の発展に著しい貢献があった者について、役員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 3 顧問は、本会の活動を積極的に協力支援する者について、役員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 4 卒業回別役員は、本会と各同期会員との連携強化のための連絡・調整を行う。

### 第3章 支 部

(支部)

第12条 本会は、役員会の承認を得て各地域等に支部を置くことができる。

- 2 支部は、第3条の趣旨に基づいて会則を定め、本部との緊密な連携のもとに、必要な活動を行うものとする。
- 3 支部は、その名称、活動する地域、役員名、事務所等を会長に届け出るものとする。

### 第4章 会 議

(総会)

第13条 総会は、本会の最高議決機関であり、通常総会と臨時総会を開催する。

- 2 総会の議長は、理事のうちから総会の議決を得て選任する。
- 3 総会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数であるときは議長の決するところによる。

(通常総会)

第14条 通常総会は、毎年1会計年度ごとに開催し、会長が招集する。

- 2 通常総会は、次の事項を議決するものとする。
  - (1) 予算及び事業計画を定めること
  - (2) 決算及び事業報告の認定
  - (3) 役員を選任

- (4) 同窓会会則の変更
- (5) その他本会の運営に関わる基本的事項  
(臨時総会)

第15条 臨時総会は、理事の過半数から要求があったとき、又は会長が必要と認めるときは、これを招集する。

(役員会)

第16条 役員会は、会長、副会長及び監事をもって構成する。

2 役員会は、会長が招集し、議長は会長がこれにあたる。

3 役員会は、次の事項について審議する。

- (1) 総会に諮るべき事項
- (2) その他本会の管理及び運営に必要な事項

## 第5章 会 計

(会費等)

第17条 本会の経費は、次の収入をもって充て、資金の運用については、別に定める。

- (1) 入会金 7,000 円
- (2) 会 費
  - ① 年会費 2,000 円
  - ② 10年会費 18,000 円
  - ③ 終身会費 30,000 円(ただし、年齢60歳以上の会員に限る。)
- (3) 寄付金
- (4) 臨時会費及びその他の収入

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第6章 会則改正等

(会則の改正)

第19条 この会則は、総会において出席者の3分の2以上の同意がなければ、改正することができない。

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が役員会に諮り決定し、総会において報告する。

## 附 則

1 本会則は、平成18年8月12日から施行する。

## 付 録

- 1 同窓会会則(昭和58年8月施行。以下「旧会則」という。)は、廃止する。
- 2 第18条の規定にかかわらず、平成18年度の会計年度は、平成18年8月12日から始まる。



# 校歌

作詞 荒川義治  
作曲 深山桂

- 一、戸室の丘辺旭日さして  
三剣光り輝く見ずや  
阿夫利の高嶺相模の流れ  
高きに憧れ長きを慕ふ  
相州健児 あ、我が友
- 二、文化の流れ渦巻くところ  
御国の理想いかしく立てり  
剛毅のかいに和平のかじに  
いざ国進めん雄々しく猛く  
相州健児 あ、我が友
- 三、我等は若し我等は強し  
我等の前途光明みてり  
思えば昔御国の為に  
尽くせし祖先の功は高し  
相州健児 あ、我が友

